

令和6年度第2回 浜松市障がい者自立支援協議会市全体会会議録

1 開催日時 令和7年2月13日（木） 午前9時30分から11時30分

2 開催場所 浜松市役所 北館 101、102会議室
(Zoomを使ったオンラインを併用)

3 出席状況

構成員所属先		氏名
学識経験者	聖隷クリストファー大学	川向 雅弘
医療	メンタルクリニックダダ	大嶋 正浩
計画相談	浜松市相談支援専門員連絡会	鈴木 宏幸
当事者	浜松市浜松手をつなぐ育成会	小出 隆司
社協	社会福祉法人浜松市社会福祉協議会	宇佐美 嘉康
教育	浜松市立中瀬小学校	松本 昌之
入所	浜松市社会福祉施設協議会	清水 厚紀
通所	静岡県作業所連合会・わ浜松地区会	海野 洋一郎
児童	児童発達支援事業所連絡会	井上 佳子
専門部会	こども部会	雨宮 寛
	生活部会	山下 由佳
	就労部会	岸 直樹
庁内出席者	学校教育部教育支援課 課長	南瀬 悦司
	こども家庭部子育て支援課 家庭支援担当課長	仲谷 美樹
事務局	中央社会福祉事業所社会福祉課 課長	夏目 健一
	浜名社会福祉事業所社会福祉課 課長	北村 聡
	天竜社会福祉事業所社会福祉課 課長	芦澤 信之
	障害保健福祉課 課長	榊原 克人
	障害保健福祉課 精神保健福祉担当課長	稲葉 友亮

事務局	障害保健福祉課 課長補佐	柴田 多美子
	障害保健福祉課 総務調整 G	大庭 正裕
	障害保健福祉課 企画・相談 G	大庭 靖史
	障害保健福祉課 指導 G	吉田 直樹
	障害保健福祉課 給付 G	飯塚 康敬
	障害保健福祉課 手当助成 G	内藤 淳
	障害保健福祉課 地域生活支援 G	岡田 佳久
	障害保健福祉課 精神保健 G	吉良 祐子
	障害保健福祉課 企画・相談 G	鈴木 史哉
	障害保健福祉課 企画・相談 G	白柳 麻衣子
	中障がい者相談支援センター	藤川 晴海
	東障がい者相談支援センター	平野 明臣
	西障がい者相談支援センター	袴田 章彦
	南障がい者相談支援センター	大場 拓弥
	北障がい者相談支援センター	金森 勇人
	浜北障がい者相談支援センター	大柳豆 勇太
	天竜障がい者相談支援センター	那須 将司
	障がい者基幹相談支援センター	後藤 翔一朗
	障がい者基幹相談支援センター	玉木 祐次郎
	障がい者基幹相談支援センター	野島 和樹
	障がい者基幹相談支援センター	小杉 茉巳
	障がい者基幹相談支援センター	本宮 早奈映

4 傍 聴 者 56名

5 議 事 内 容

- (1) 令和6年度エリア活動報告について
- (2) 日中サービス支援型グループホーム評価について
- (3) 専門部会活動報告
 - ・こども部会活動報告
 - ・生活部会活動報告

- ・就労部会活動報告
- (4) 共同支援会議の報告について
- (5) 浜松市障がい者自立支援協議会次年度体制について
- (6) その他
 - ・5歳児健康診査事業について（健康増進課）

6 会議録作成者 障害保健福祉課生活 企画・相談グループ 鈴木

7 記録の方法 発言者の要点記録

8 会議記録

- (1) 令和6年度エリア活動報告について（資料を元に説明）
- <意見>
- (小出委員)
- ・各エリアにおける高齢化・重度化している個人または家庭をどの程度把握しているか。
 - ・把握にあたり、調査等を行っているか。
- (事務局)
- ・個別に調査等は行っていないため、相談を受けたケースは把握し、関係機関と共有するところに留まっている。
- (大嶋委員)
- ・各エリアで行った取り組みについて、話し合いをして、集約するのはどこの機関で行うか。
 - ・各エリアからの課題について、話し合いを行った資料や集約した過程をふまえた結果を市全体会では議論すべきである。次回については、エリアから、企画会議を踏まえ、市全体会にどのように議論されたかわかる資料を提示いただきたい。
- (事務局)
- ・各エリアから課題が挙げた場合には、事務局会議、企画会議等で議論を行う。今回については、集約した結果の資料を添付しているため、次回には集約した課題等が分かる資料を添付し、議論するよう準備する。
- (海野委員)
- ・エリアの課題と取り組み内容については、資料に記載されているが、取り組んだ結果の成果・効果・変化については、記載されていない。各エリアで行った取り組みや課題について、市協議会に提言し、議論を重ねるまでのフローが分かる形で、各エリアでの取り組みを行った結果や、結果の変化を見える化をしてもらいたい。
- (事務局)
- ・エリア課題がどのように市の企画会議等で協議されたかがわかるよう対応する。
- (鈴木委員)

- ・相談支援専門員連絡会と相談支援部会の住み分けが分かり辛いという意見があった。その住み分けの案について、次回以降に市全体会等でご報告いただきたい。

(事務局)

- ・次回以降の市全体会で報告できるよう対応を検討する。

(川向委員)

- ・南エリアの活動における、構成員の中に地区の社会福祉協議会が参画している目的や意図、ビジョンについてご教示いただきたい。

(事務局)

- ・地区の部会の目的として、協働の活動によるネットワークづくりと地域とのつながりを意識して、地区の社会福祉協議会に参画いただいた。

(2) 日中サービス支援型グループホーム評価について(資料を元に説明)

<意見>

(岸委員)

- ・グループホーム評価について、一定の評価基準を定めてはどうか。

(小出委員)

- ・重度化・高齢化についてどのように対応するか評価項目には記載されていないが、どのように確認しているのか。

(事務局)

- ・評価基準については、事例を積み上げた中で、基準を作成できれば作成していきたい。
- ・重度化、高齢化については意見交換の中では聞き取り等を行っているが、評価項目の中へは反映できていないのが現状である。

(雨宮委員)

- ・日中サービス支援型 GH からの課題の吸い上げが難しいという件について、計画相談の事業所にも入ってもらい、事例検討を行ってはどうか。

(3) 専門部会活動報告

○こども部会(資料を元に説明)

○就労部会(資料を元に説明)

○生活部会(資料を元に説明)

<意見>

(海野委員)

- ・就労部会について、就労選択支援のアセスメントするためのツールを標準化する場合、導

入方法も重要であるが、実際の運用方法を議論していただきたい。相談支援専門員と就労先を含めて継続的にコミュニケーションが取れるツールが運用されていくことが望ましい。

(4) 共同支援会議の報告について(資料を元に説明)

<意見>

・なし

(5) 浜松市障がい者自立支援協議会次年度体制について(資料を元に説明)

<意見>

・なし

(6) その他

・5歳児健康診査事業について(資料を元に説明)

<意見>

・なし